天井下地間仕切下地システム

SATOCK®

● 製品案内 ●

PRODUCTS CATALOGUE

株式会社 佐藤型鋼製作所

CONTENTS

SATOCK 軽鉄天井下地材

SATOCK 軽鉄天井下地材 ―― 2
SATOCK 軽鉄天井下地部材 ―― 2
SATOCK 軽鉄天井下地部材断面性能表 ―― 3
建築用鋼製下地材(天井)JISA6517-2010抜粋 ―― 3
SATOCK 軽鉄天井下地施工要領 ―― 6
天井野縁標準割付図 ―― 6
下り壁詳細図 ―― 8
開口部詳細図(天井点検口) ―― 8
天井下地材使用数量(1m²あたり) ―― 8

SATOCK 軽鉄壁下地材

SATOCK 軽鉄壁下地材 ―― 9
SATOCK 壁下地部材 ―― 9
SATOCK 壁下地断面性能表 ―― 10
建築用鋼製下地材(壁)JISA6517-2010抜粋 ―― 10
SATOCK 軽鉄壁下地施工要領 ―― 12
軽鉄壁下地標準割付図 ―― 12
一般壁面施工詳細図 ―― 13

SATOCK 建築用鋼製下地材は日本産業規格に基づいて、
日本産業規格表示許可工場にて製造されたものです。

発効日：2025年11月7日

Certification for Japanese Industrial Standards
日本産業規格適合性認証書

株式会社佐藤型鋼製作所 殿

産業標準化法第３０条第１項に基づき、下記のとおり
当該日本産業規格への適合を認証いたします。

記

認証番号：TC0616001
認証取得者の氏名及び名称：株式会社佐藤型鋼製作所
住所：広島県広島市中区寺町 2-23 宮本ビル
鉱工業品の名称：建築用鋼製下地材(壁・天井)
認証に係る JIS 番号：JIS A 6517
認証の区分：建築用鋼製下地材(壁・天井)
工場及び事業所の名称：株式会社佐藤型鋼製作所 吉田工場
所在地：広島県安芸高田市吉田町川本 180 番地 1

「認証の範囲」、「認証マーク等の表示」、「付記事項の表示」及び「表示の方法」については
日本産業規格適合性認証書附属書による。

認証契約日：2016年6月6日
有効期限：2025年6月5日

一般財団法人 建材試験センター
Japan Testing Center for Construction Materials
東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番15号
理事長 渡辺 宏

Annex to Certification for Japanese Industrial Standards
日本産業規格適合性認証書附属書

(認証番号:TC0616001)

認証の範囲(種類又は等級)：

種類		構成する部材の区分
壁下地材	50形	WS-50, WR-50, WB-19 及びスペーサを組み合わせたものでスタッドの長さが 2.7m 以下のもの。
	65形	WS-65, WR-65, WB-25 及びスペーサを組み合わせたものでスタッドの長さが 4m 以下のもの。
	75形	WS-75, WR-75, WB-25 及びスペーサを組み合わせたものでスタッドの長さが 4m 以下のもの。
	90形	WS-90, WR-90, WB-25 及びスペーサを組み合わせたものでスタッドの長さが 4.5m 以下のもの。
	100形	WS-100, WR-100, WB-25 及びスペーサを組み合わせたものでスタッドの長さが 5m 以下のもの。
天井下地材	19形	CS-19, CW-19, CC-19 を附属金物によって組み合わせたもの。
	25形	CS-25, CW-25, CC-25 を附属金物によって組み合わせたもの。

認証マーク等の表示：
1) 認証マークは、単色とし直径 8mm 以上の大きさで表示する。
2) 認証マーク近傍に、一般財団法人 建材試験センターの略称及び認証番号として、「TC0616001」を表示する。
3) 日本産業規格の番号、種類又は記号を表示する。

付記事項の表示：鉱工業品等には次の事項を表示する。
適合する JIS で定める表示事項
・認証取得者(製造業者)の名称又は略号
・製造年月
・製造工場名又は略号
・1包装の数量

表示の方法：
1) 認証マーク等は、1製品ごとに刻印、1包装ごとに印刷する。
2) 容易に消えない方法による。

一般財団法人 建材試験センター
上級経営管理者
丸山 慶一郎

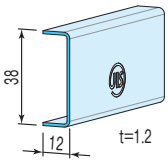
SATOCK 軽鉄天井下地材

1 SATOCK 軽鉄天井下地部材

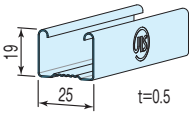
(1)日本産業規格製品(JIS規格材)

19形

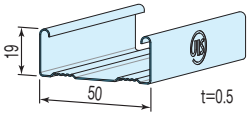
CC-19
(19形野縁受け)



CS-19
(19形シングル野縁)



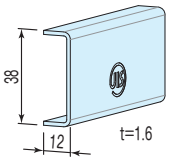
CW-19
(19形ダブル野縁)



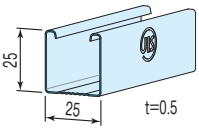
JIS製品はJISマークとSATOCK-Yの刻印が附してあります。

25形

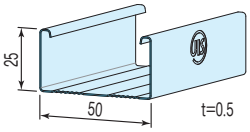
CC-25
(25形野縁受け)



CS-25
(25形シングル野縁)



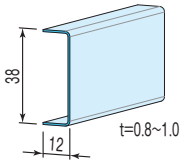
CW-25
(25形ダブル野縁)



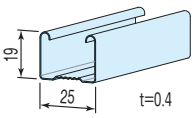
JIS製品はJISマークとSATOCK-Yの刻印が附してあります。

(2)一般普及製品(一般材19形)

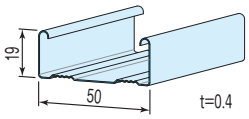
C-38
(一般野縁受け)



S-25NM
(一般シングル野縁)



W-50NM
(一般ダブル野縁)



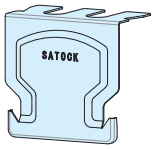
(3)附属金物

シングルクリップ

JIS19形用 t=0.6
JIS25形用 t=0.8
一般用 t=0.5

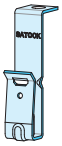
ダブルクリップ

JIS19形用 t=0.6
JIS25形用 t=0.8
一般用 t=0.5



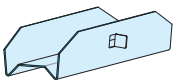
ハンガ

JIS用 t=2.0



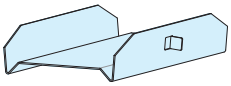
19形シングル野縁ジョイント

JIS用 t=0.5
一般用 t=0.4



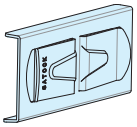
19形ダブル野縁ジョイント

JIS用 t=0.5
一般用 t=0.4



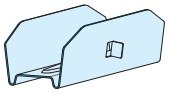
野縁受けジョイント

t=1.0



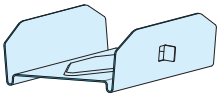
25形シングル野縁ジョイント

JIS用 t=0.5



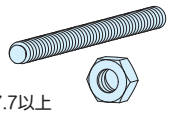
25形ダブル野縁ジョイント

JIS用 t=0.5



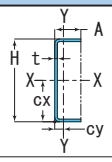
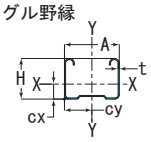
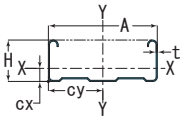
つりボルト JIS規格

① 転造ネジである事
② ネジ山径9.0以上
③ 円筒部径8.1以上
④ ホーマーナット高さ7.7以上



2 SATOCK 軽鉄天井下地部材断面性能表

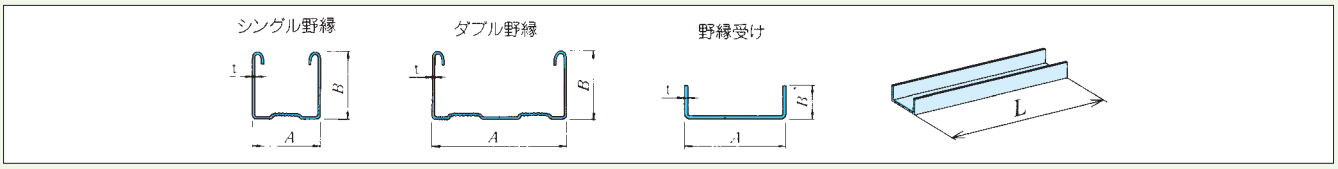
2025年12月改訂

名称	形状	製品記号	寸法 (mm) H×A×t	単位重量 (kg/m) W	断面積 (cm²)	断面二次モーメント (cm⁴) Ix	Iy	断面係数 (cm³) Zx	Zy	断面二次半径 (cm) ix	iy	重心位置 (cm) cx	cy
野縁受け		CC－19	38×12×1.2	0.5474	0.6840	1.330	0.08251	0.6998	0.09002	1.394	0.3473	1.900	0.2835
		CC－25	38×12×1.6	0.7264	0.9120	1.725	0.1065	0.9081	0.1183	1.375	0.3417	1.900	0.3000
野縁	シングル野縁 	CS－19	19×25×0.5	0.2876	0.3500	0.1654	0.3551	0.1467	0.2841	0.6874	1.007	0.7730	1.250
		CW－19	19×50×0.5	0.3903	0.4750	0.2131	1.806	0.1622	0.7224	0.6698	1.950	0.5860	2.500
	ダブル野縁 	CS－25	25×25×0.5	0.3451	0.4200	0.3583	0.4490	0.2511	0.3592	0.9236	1.034	1.073	1.250
		CW－25	25×50×0.5	0.4478	0.5450	0.4611	2.202	0.2773	0.8807	0.9198	2.010	0.8370	2.500

3 建築用鋼製下地材(天井)JISA6517-2010抜粋

(1)天井下地材の形状・基準寸法・許容差及び材料

天井下地材の構成部材の寸法



単位 mm

構成部材	記号	幅(A) 基準寸法	許容差	高さ(B) 基準寸法	許容差	板厚(t)[b] 基準寸法	長さ(L)[a] 基準寸法	許容差
シングル野縁	CS－19	25	±1.5	19	±0.5	0.5	4000 5000	＋40 0
	CS－25			25				
ダブル野縁	CW－19	50		19				
	CW－25			25				
野縁受け	CC－19	38	±0.5	12	±1.5	1.2		
	CC－25					1.6		

※注[a] 長さ（L）は、それぞれの記号の長さの上限内において受渡当事者間の協定によって定めてもよい。
[b] 板厚（t）の許容差は、JIS G 3302及びJIS G 3321による。

天井下地材の附属金物の寸法

単位 mm

附属金物の種類			天井下地材の種類	
			19形	25形
つりボルト	ねじの種類		3/8ウイット転造ねじ	
	山の角度(参考)		55°程度	
	山数／インチ(参考)		16山	
	外径	基準寸法	9.0	
		許容差	+0.3 0	
	有効径	基準寸法	8.1	
		許容差	+0.2 0	
ナット	ねじの種類		3/8ウイットねじ	
	二面幅	基準寸法	17	
		許容差	+0 −0.7	
	高さ	基準寸法	8.0	
		許容差	+0.4 −0.3	
	山の角度(参考)		55°程度	
	山数／インチ(参考)		16山	
	内径(参考)	基準寸法	7.7	
		許容差	+0.4 0	
ハンガ[a)]	板厚		2.0以上	
クリップ[a)]	板厚		0.6以上	0.8以上
シングル野縁ジョイント[a)]	板厚		0.5以上	
ダブル野縁ジョイント[a)]	板厚		0.5以上	
野縁受けジョイント[a)]	板厚		1.0以上	

※注[a)] 板厚の許容差は、JIS G 3302又はJIS G 3321によるものとし、他の寸法(幅、高さなど)については、受渡当事者間の協定による。

材料

鋼製下地材の構成部材及び附属金物に使用する材料は、下表又はこれと同等以上の品質をもつものでなければならない。

鋼製下地材	構成部材	附属金物	適用JIS
天井下地材	シングル野縁、ダブル野縁、野縁受け	ハンガ、クリップ、シングル野縁ジョイント、ダブル野縁ジョイント、野縁受けジョイント	JIS G 3302：種類及び記号は、冷延原板のSGCC又はSGC400とし、熱延原板はSGHC又はSGH400とする。めっきの付着量は、めっきの付着量表示記号のZ12以上とする。 JIS G 3321：種類及び記号は、冷延原板のSGLCC又はSGLC400とし、熱延原板はSGLHC又はSGLH400とする。めっきの付着量は、めっきの付着量表示記号AZ90以上とする。
	―	つりボルト、ナット	JIS G 3505：種類及び記号は、SWRM8、SWRM10又はSWRM12とする。また、JIS H 8610に規定する1級以上、JIS H 8625に規定する1級CM1A以上又はこれと同等以上の防錆処理を施したものとする。

※注[a)] 受入れ時の鋼材検査証明書などによって確認する。

(2)品質及び性能

外観

天井下地材の外観は、9.1によって試験を行い、次の規定に適合しなければならない。

a）天井下地材の構成部材及び附属金物の外観は、使用上支障のあるねじれ及び変形があってはならない。

b）天井下地材の構成部材及び附属金物の外観は、使用上有害な引っかききず、凹凸及び汚れがあってはならない。

性能

天井下地材の性能は、箇条９によって試験を行い、下表の規定に適合しなければならない。

天井下地材の性能

単位 mm

性　能　項　目				性　　能	試験箇条
構成部材の形状安定性		横曲がり[a]		2L/1000以下[a]	9.3.1
		反り[b]		2L/1000以下[b]	9.3.2
載荷強さ	下向き載荷	野縁	最大たわみ量	10以下	9.5.1[a]
			残留たわみ量	1以下	
		野縁受け	最大たわみ量	5以下	9.5.1[b]
			残留たわみ量	1以下	
	上向き載荷	野縁	最大たわみ量	5以下	9.5.2

※注[a] 横曲がりの測定箇所（A）及びLは、別紙図による。
[b] 反りの測定箇所（B）及びLは、別紙図による。

(3)表　示

当社の日本産業規格製品（野縁及野縁受け等）には下記のマーク（刻印）が附してあります。

JIS SATOCK-Y

(4)施工手順

1．つりボルトにハンガを取付ける。締め付け固定用ナットはハンガの位置が調節出来る様に間隔をあけて取付けておく。

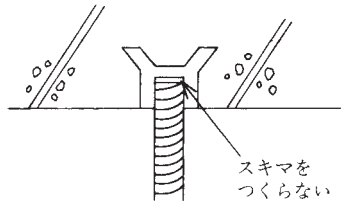
2．天井インサート等につりボルトを最後までしっかりねじ込む。（図②参照）

3．野縁受けをハンガに嵌合挿入する。この場合野縁受けは図③の向きに挿入する。

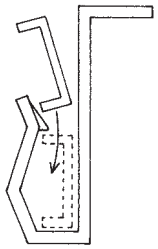
4．野縁受けに対し、シングル野縁、ダブル野縁を指定された間隔にて各々、シングルクリップ、ダブルクリップにて固定する。
シングルクリップ・ダブルクリップ共、必ずクリップの向きを交互にさせて取り付ける。（図④参照）

5．最後に天井高、水平等を調節して、ハンガを上下のナットでしっかり固定する。

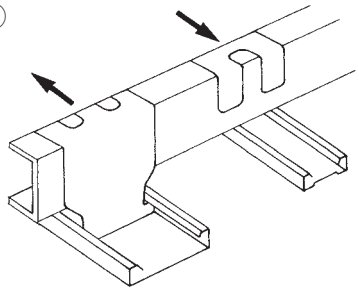
②



③



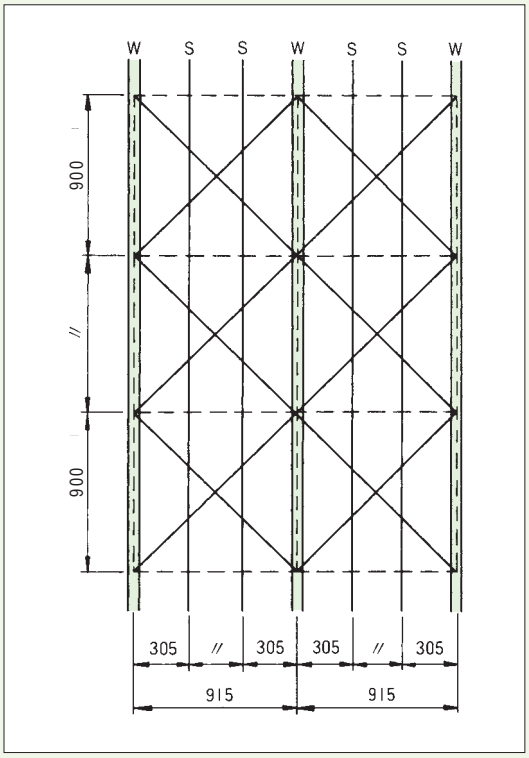
④

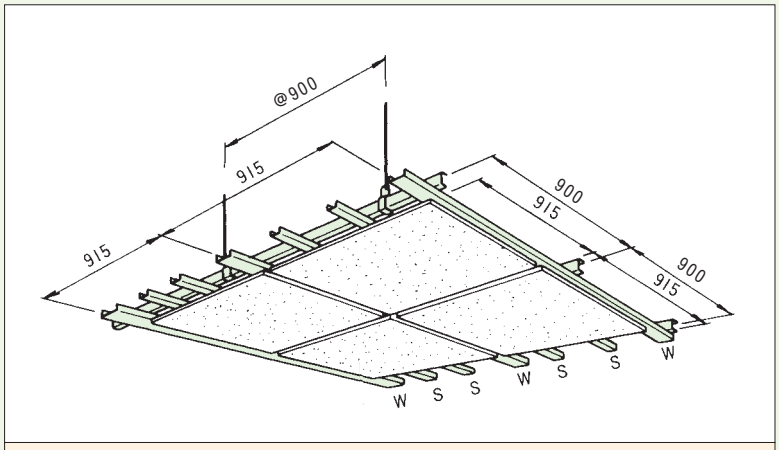


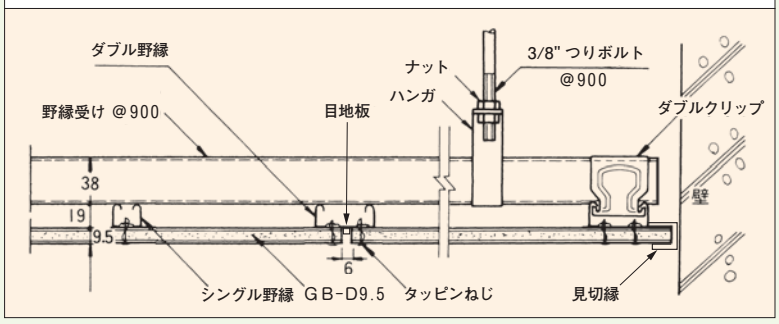
SATOCK 軽鉄天井下地施工要領

1 天井野縁標準割付図

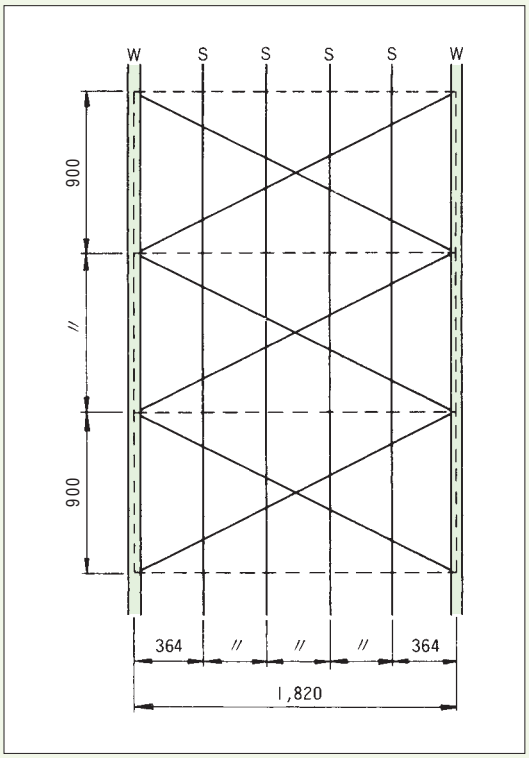
3'×3'ボード仕上げ張り

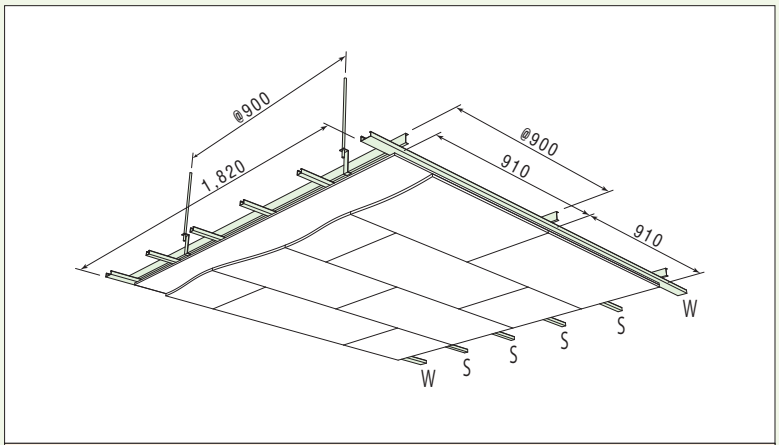


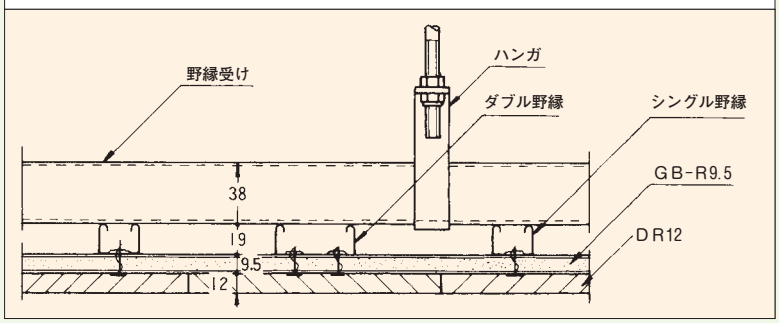




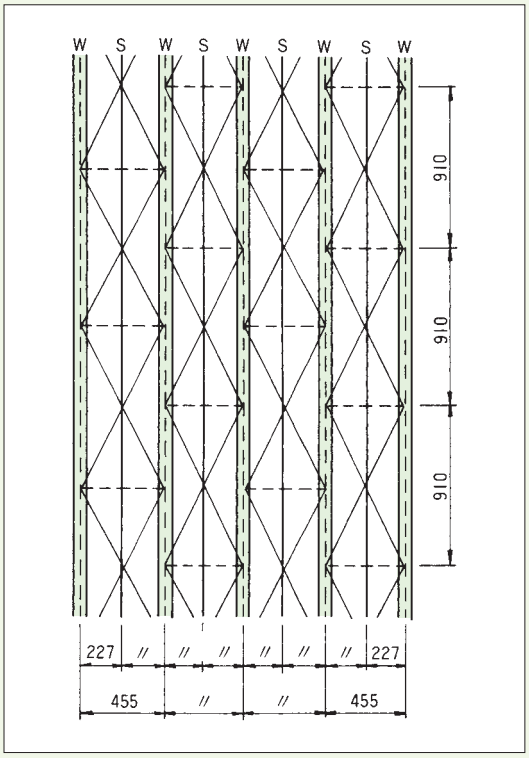
3'×6'ボード捨て張り

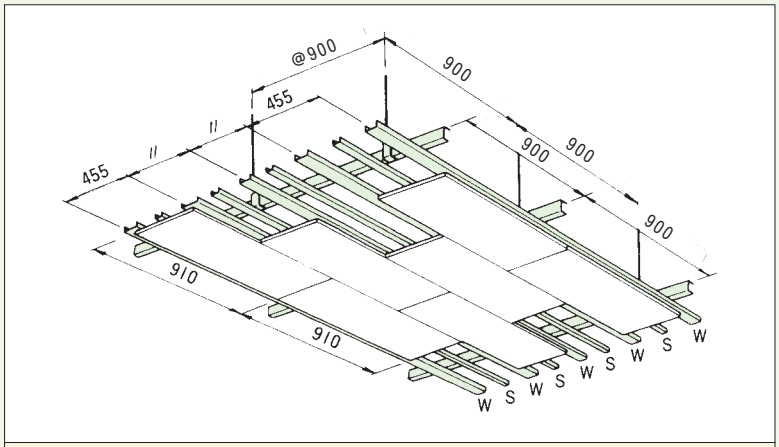


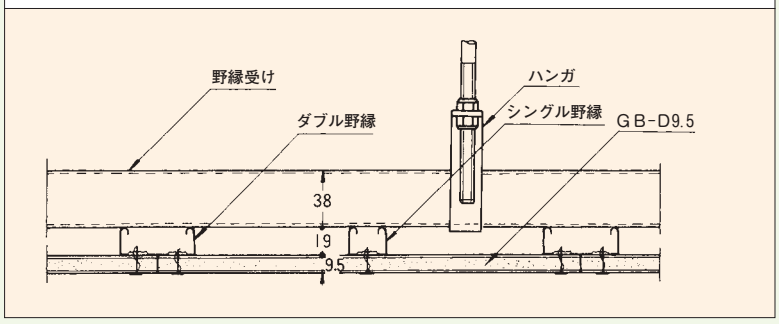




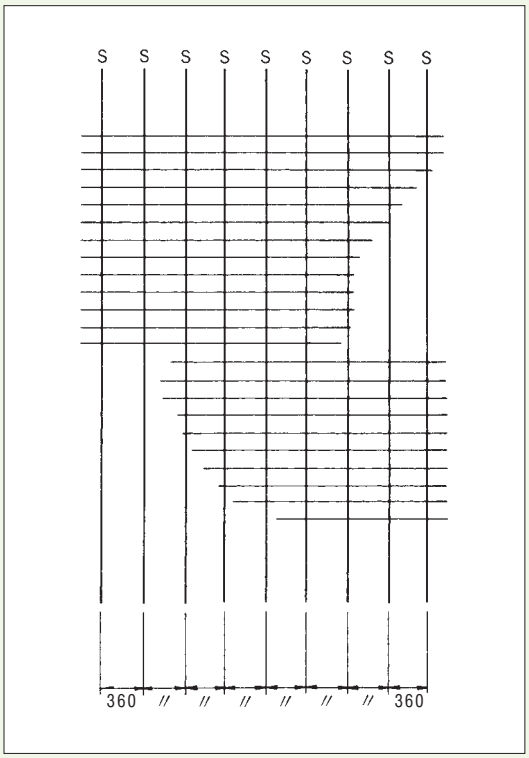
1.5'×3'ボード仕上げ張り

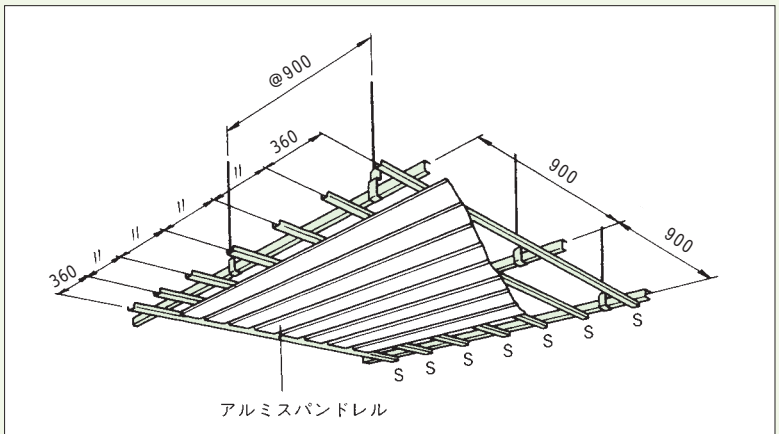


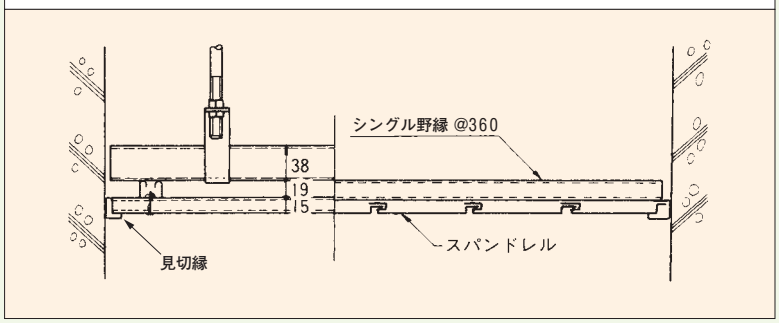




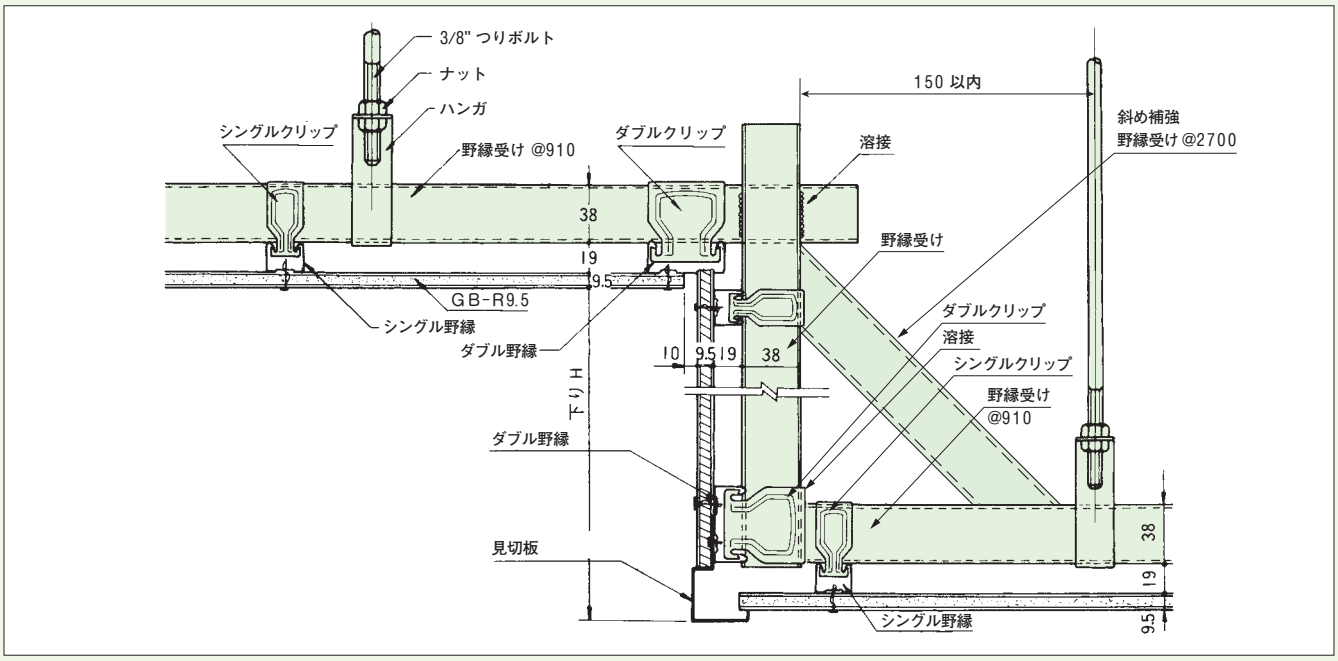
スパンドレル張り



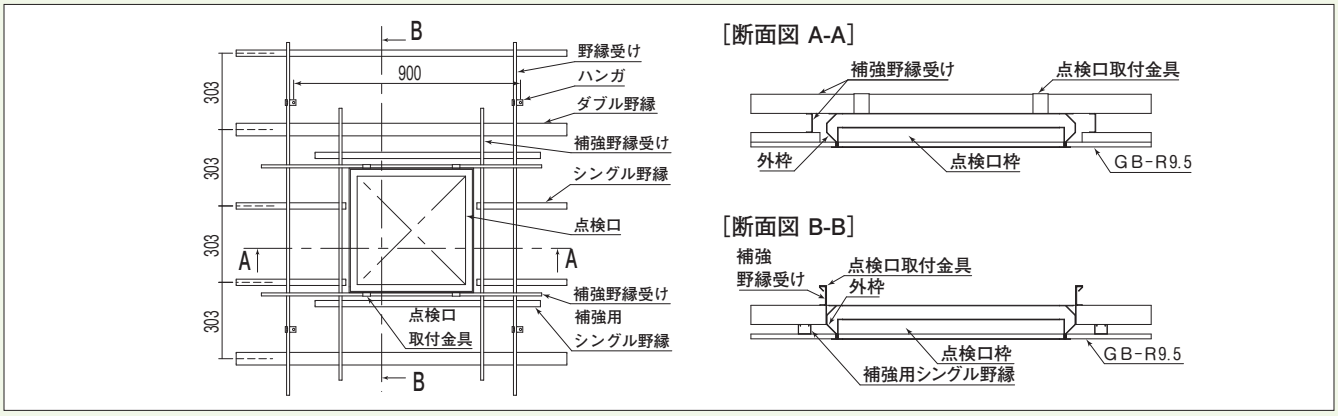




2 下り壁詳細図



3 開口部詳細図(天井点検口の場合)

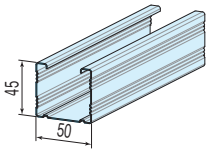
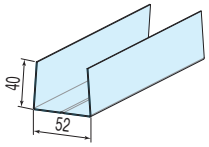
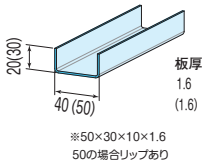
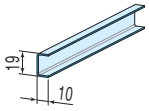
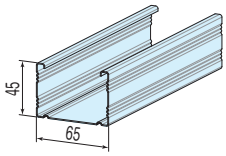
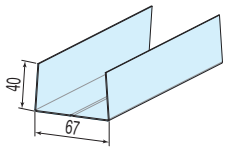
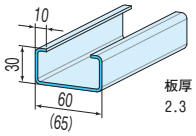
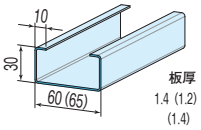
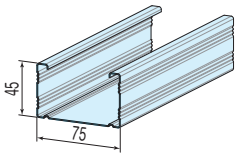
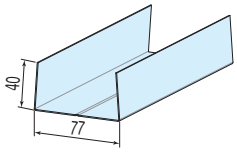
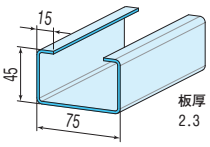
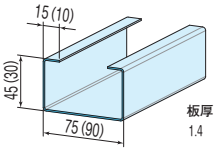
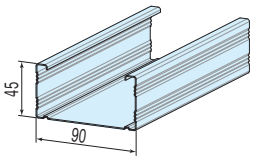
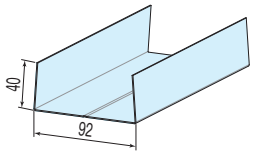
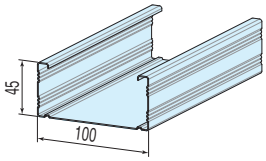
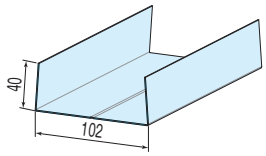
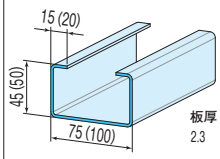
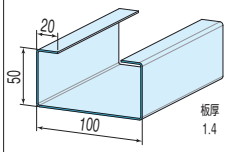


4 天井下地材使用数量(1 m²あたり)

部材名 ＼ 仕上の種別	単位	ボード捨て張り 910×1820	ボード仕上げ張り 910×910	ボード仕上げ張り 455×910	ボード仕上げ張り 910×1820	スパンドレル張り
3/8"つりボルト	本	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
3/8"ナット	個	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
ハンガ	個	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
野縁受け	本 (4m)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
シングル野縁	本 (4m)	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7
ダブル野縁	本 (4m)	0.2	0.3	0.6	0.2	—
シングルクリップ	個	2.5	2.5	2.5	3.1	3.1
ダブルクリップ	個	0.7	1.3	2.5	0.7	—
シングル野縁ジョイント	個	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7
ダブル野縁ジョイント	個	0.2	0.3	0.6	0.2	—
野縁受けジョイント	個	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

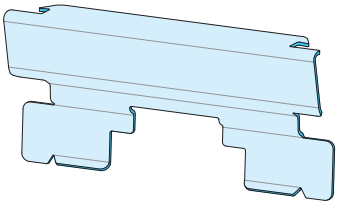
SATOCK 軽鉄壁下地材

1 SATOCK 壁下地部材

	スタッド		ランナ		補強材		振れ止め
	JIS規格材	一般材	JIS規格材	一般材	JIS規格材	一般材	JIS規格材
品質／サイズ	板厚＝0.8 亜鉛の付着量 Z12(120g/㎡)以上 AZ90(90g/㎡)以上	亜鉛の付着量 Z12(120g/㎡) 又はZ08(80g/㎡)	板厚＝0.8 亜鉛の付着量 Z12(120g/㎡)以上 AZ90(90g/㎡)以上	亜鉛の付着量 Z12(120g/㎡) 又はZ08(80g/㎡)	亜鉛の付着量 Z12(120g/㎡)以上	亜鉛の付着量 Z12(120g/㎡) 又はZ08(80g/㎡)	板厚＝1.2 亜鉛の付着量 Z12(120g/㎡)以上 AZ90(90g/㎡)以上
50形			—		
65形						
75形						
90形							
100形						

スタッド、ランナ、振れ止め等のJIS製品には㊐マークとSATOCK-Yの刻印が附してあります。

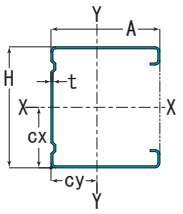
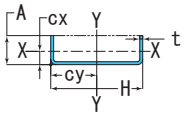
スペーサ参考図



サイズ：50、65、75、90、100形

2 SATOCK 壁下地断面性能表

2025年12月改訂

名称	形状	製品記号	寸法 (mm) H×A×t	単位重量 (kg/m) W	断面積 (cm²)	断面二次モーメント (cm⁴) Ix	Iy	断面係数 (cm³) Zx	Zy	断面二次半径 (cm) ix	iy	重心位置 (cm) cx	cy
スタッド		WS−50	50×45×0.8	1.028	1.272	5.539	3.666	2.216	1.398	2.087	1.698	2.500	1.877
		WS−65	65×45×0.8	1.092	1.352	9.863	3.727	3.035	1.302	2.701	1.660	3.250	1.638
		WS−75	75×45×0.8	1.189	1.472	13.91	4.249	3.709	1.479	3.074	1.699	3.750	1.628
		WS−90	90×45×0.8	1.286	1.592	21.10	4.529	4.688	1.514	3.640	1.687	4.500	1.508
		WS−100	100×45×0.8	1.351	1.672	26.88	4.693	5.376	1.533	4.009	1.675	5.000	1.438
振れ止め		WB−25	25×10×1.2	0.3889	0.4860	0.04324	0.4187	0.05970	0.3350	0.2983	0.9282	0.2756	1.250
		WB−19	19×10×1.2	0.3313	0.4140	0.03919	0.2146	0.05702	0.2259	0.3077	0.7199	0.3126	0.9500

3 建築用鋼製下地材(壁)JISA6517-2010抜粋

(1)種類及び記号

壁下地材の構成部材の組合せ

鋼製下地材	区分記号	構成部材の組合せ
壁下地材	50形	WS−50、WR−50、WB−19及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが2.7m以下のもの。
	65形	WS−65、WR−65、WB−25及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが4m以下のもの。
	75形	WS−75、WR−75、WB−25及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが4m以下のもの。
	90形	WS−90、WR−90、WB−25及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが4.5m以下のもの。
	100形	WS−100、WR−100、WB−25及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが5m以下のもの。

(2)品質及び性能

外観

壁下地材の外観は、9.1によって試験を行い、次の規定に適合しなければならない。

a) 壁下地材の構成部材及び附属金物の外観は、使用上支障のあるねじれ及び変形があってはならない。

b) 壁下地材の構成部材及び附属金物の外観は、使用上有害な引っかききず、凹凸及び汚れがあってはならない。

性能

壁下地材の性能は、箇条9によって試験を行い、下表の規定に適合しなければならない。

壁下地材の性能

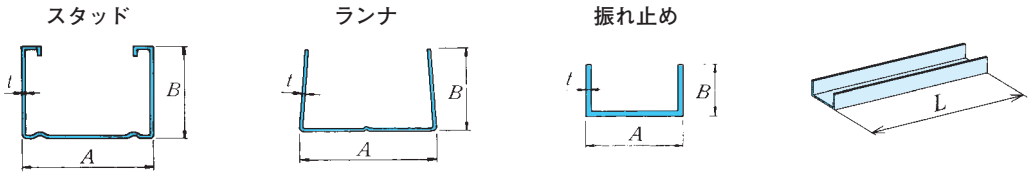
単位 mm

性能項目		性能	試験箇条
構成部材の形状安定性	横曲がり[a]	ランナ及びスタッドはL/1000以下[a] 振れ止めは2L/1000以下[a]	9.3.1
	反り[b]	2L/1000以下[b]	9.3.2
載荷強さ	最大残留たわみ量	2以下	9.4.1
耐衝撃性	最大残留たわみ量	10以下	9.4.2
	部材の折れ及び外れ	あってはならない	

※注[a] 横曲がりの測定箇所（A）及びLは、別紙図による。
[b] 反りの測定箇所（B）及びLは、別紙図による。

(3)壁下地材の形状・基準寸法・許容差及び材料

壁下地材の構成部材の寸法



単位 mm

構成部材	記号	幅(A)		高さ(B)		板厚(t)[b]	長さ(L)[a]	
		基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	基準寸法	許容差
スタッド[c]	WS－50	50	±0.5	45	±1.0	0.8	2400 2700	＋40 0
	WS－65	65					2700 3000 3500 4000	
	WS－75	75					3000 3500 4000	
	WS－90	90					4000 4500	
	WS－100	100					4500 5000	
ランナ	WR－50	52	±0.5	40	±1.0	0.8	4000	＋40 0
	WR－65	67						
	WR－75	77						
	WR－90	92						
	WR－100	102						
振れ止め	WB－19	19	±1.5	10	±1.5	1.2	4000 5000	＋40 0
	WB－25	25						

※注[a] 長さ（L）は、それぞれの記号の長さの上限内において受渡当事者間の協定によって定めてもよい。
[b] 板厚（t）の許容差は、JIS G 3302及びJIS G 3321による。
[c] スタッドには、振れ止めを通すための孔を約1200mmの間隔で設ける。ただし、上部ランナ上端から400mm以内に位置する孔は、受渡当事者間の協定によって省略してもよい。

材　料

鋼製下地材	構成部材	附属金物	適用JIS[a]
壁下地材	スタッド、 ランナ、 振れ止め	スペーサ	JIS G 3302：種類及び記号は、冷延原板のSGCC又はSGC400とし、熱延原板はSGHC又はSGH400とする。めっきの付着量は、めっきの付着量表示記号のZ12以上とする。 JIS G 3321：種類及び記号は、冷延原板のSGLCC又はSGLC400とし、熱延原板はSGLHC又はSGLH400とする。めっきの付着量は、めっきの付着量表示記号AZ90以上とする。

※注[a] 受入れ時の鋼材検査証明書などによって確認する。

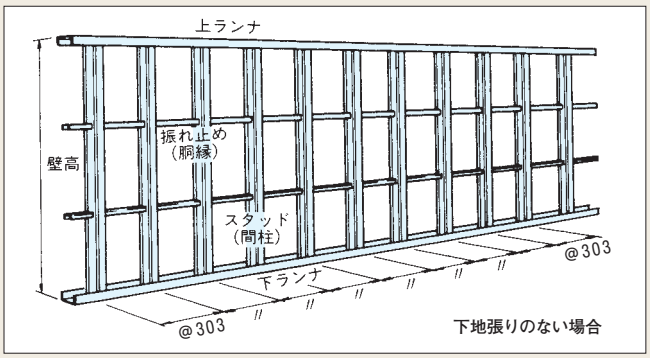
(4)表　示

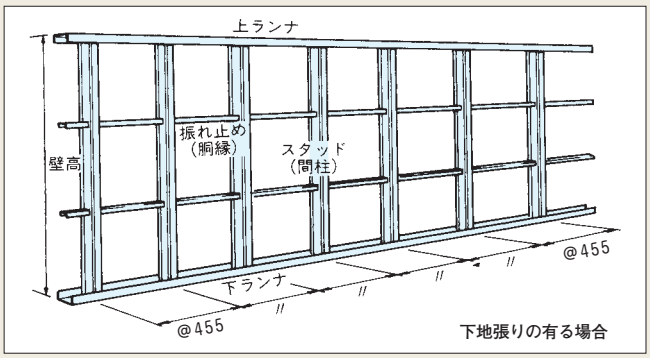
当社の日本産業規格製品（スタッド、ランナ等）には下記のマーク（刻印）が附してあります。

JIS SATOCK-Y

SATOCK 軽鉄壁下地施工要領

1 軽鉄壁下地標準割付図





施　工　手　順

(1) **墨出し**
所定の位置に墨出しをします。

(2) **ランナの固定**
下ランナを打込みピンなどで約900㎜ピッチに取付けていきます。
尚、上ランナも同じ要領で取付けます。

(3) **スペーサ取付**
スタッドは間仕切の高さに合わせて切り揃え、両端にスペーサを取付けます。又同じ様にスペーサを約600㎜ピッチにはめ込んで行きます。

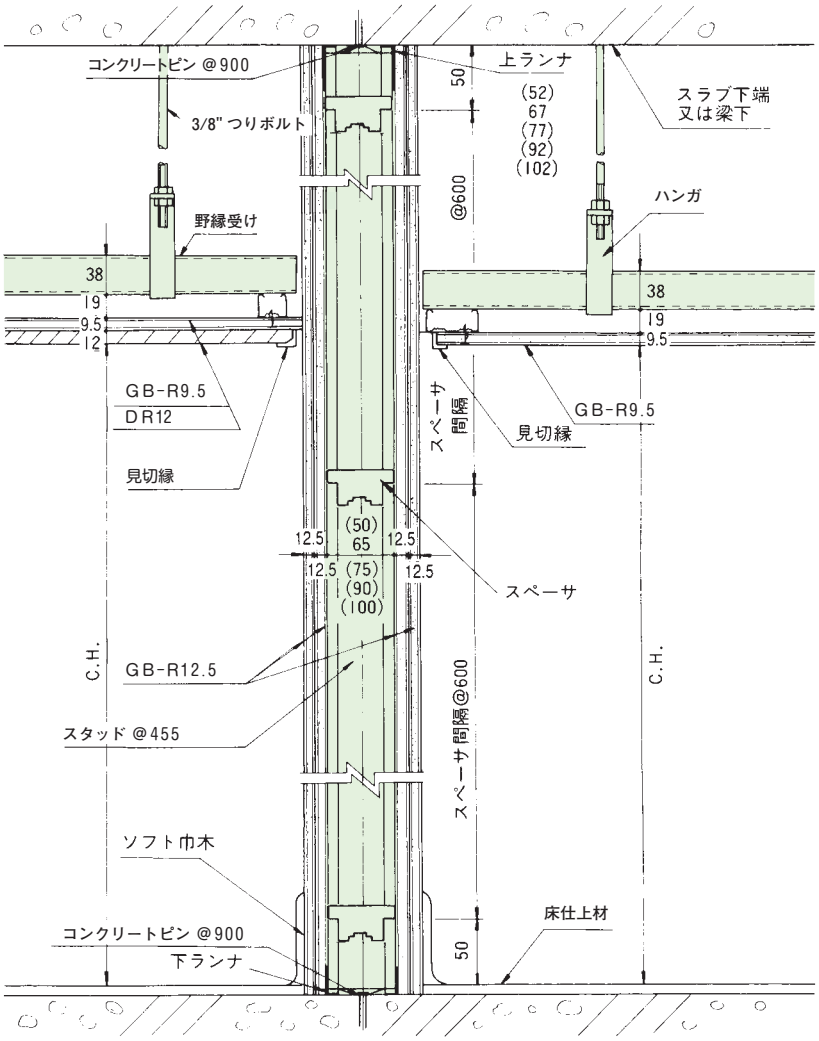
(4) **スタッド建込み**
仕上げ張りの場合303㎜ピッチ、下地張りの場合455㎜ピッチでスタッドをランナに差し込みます。

(5) **振れ止め取付**
スタッド建込み後、振れ止めチャンネルを予めスタッドに打抜かれた穴に差し込み、スペーサで振れ止めチャンネルを抑え込めば完了です。

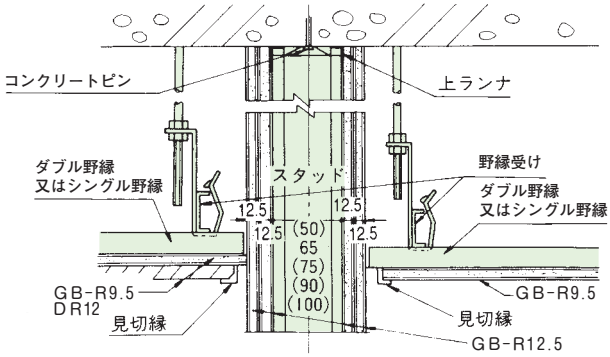
(6) **防錆処理**
出入口等の開口補強箇所及びスイッチボックス、配管工事個所等の溶接部は必ず錆止め塗料を塗布し、防錆処理を施します。

2 一般壁面施工詳細図

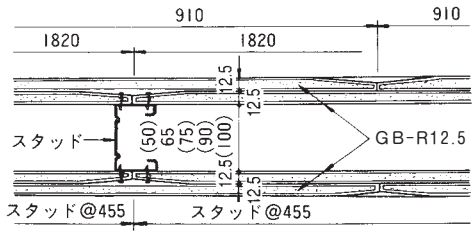
■A断面図（縦側）



■スタッドと野縁が直角になる場合

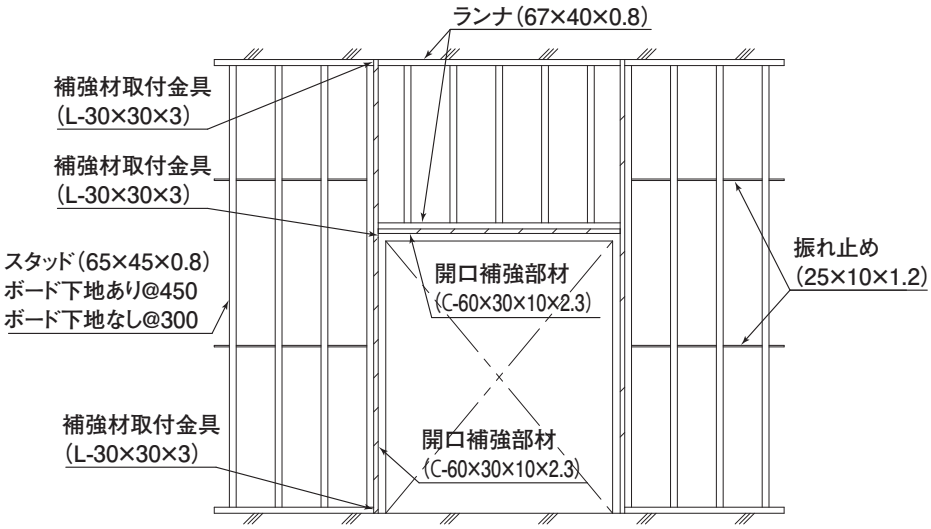


■ジョイントの断面図（横側）



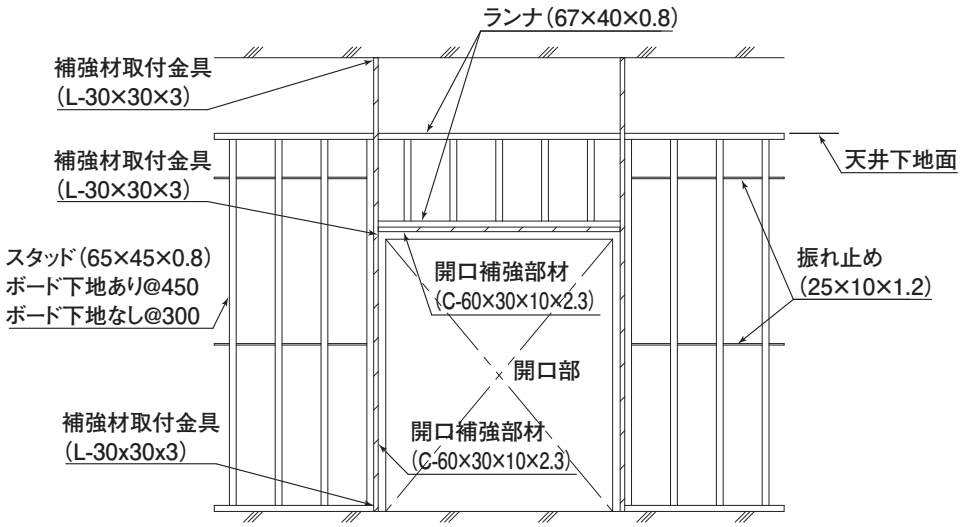
■開口部詳細図（65形の場合）

壁下地材が上部躯体に取り付く場合



壁下地材が天井下地に取り付く場合

※開口補強の縦枠補強材は上部躯体に達して留め付ける



The Hashira System®

●強力型角型間仕切下地材
●新角型間仕切下地材
●耐震スマート天井
●SATOCK耐震天井
●スマートタイト45
●タンゴ天井
●ふかし壁下地システム
●外壁用下地材
●SATOCK床下地システム
●ダイレクトクリップ

SATOCK®

JIS A 6517 建築用鋼製下地材
（JIS・一般天井下地材・間仕切下地材）

株式会社 佐藤型鋼製作所

【URL】https://satock.co.jp

□本社
〒730-0801 広島県広島市中区寺町 2-23
TEL 082-237-1962 ㈹　FAX 082-237-4703

□東京営業所
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-3-14 京橋 AK ビル 6 階
TEL 03-6281-9170 ㈹　FAX 03-6281-9171

□千葉流通センター
〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸 38
TEL 0436-60-7661 ㈹　FAX 0436-60-7672

□吉田工場
【日本産業規格認証取得工場：TC0616001】
〒731-0524 広島県安芸高田市吉田町川本 180-1
TEL 0826-43-1346 ㈹　FAX 0826-43-1876

□広島流通センター
〒731-0523 広島県安芸高田市吉田町山手 713-1
TEL 0826-43-1982 ㈹　FAX 0826-43-1983

(2026. 01)